



山洋製作所

DX塾での貴重なフィールドワーク を通して得た気づきを 共有します!

村上和彰

株式会社DXパートナーズ シニアパートナー & 代表取締役

株式会社豆蔵デジタルホールディングス 社外取締役

国立大学法人九州大学 名誉教授

事業構想大学院大学 客員教授

長崎県 デジタル戦略補佐監

福岡DXコミュニティ (旧 福岡市IoTコンソーシアム/FITCO) 会長

ビッグデータ&オープンデータイニシアティブ九州 (BODIK) ファウンダー

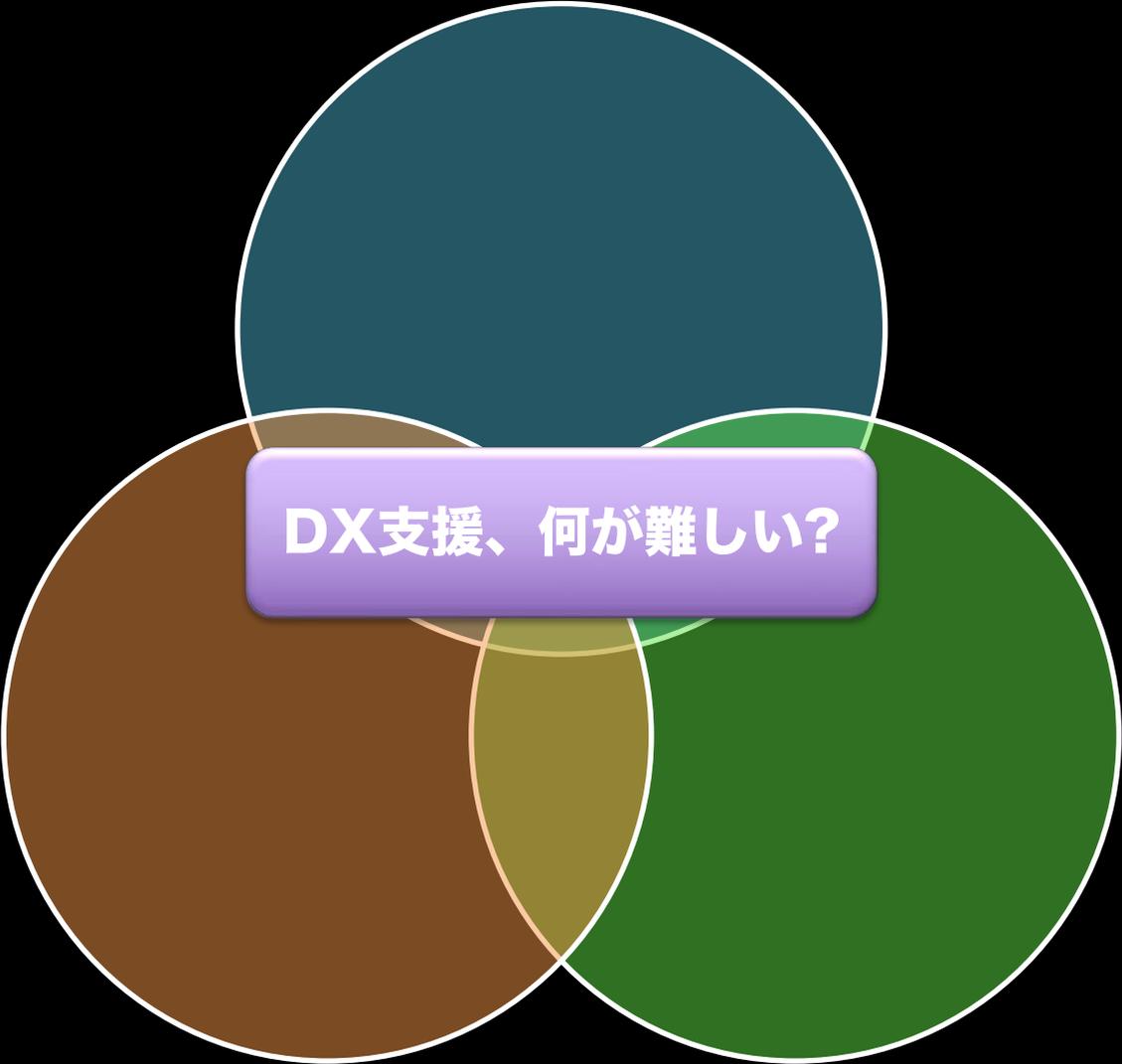
一般財団法人九州オープンイノベーションセンター 九州DX研究会座長

振り返り

A photograph of a paved road winding through a dense forest. The sun is low on the horizon, creating a warm, golden glow and long shadows. The road has a dashed yellow center line and white edge lines. The trees are mostly green, with some showing autumn colors. The title '振り返り' is written in large, white, bold Japanese characters across the middle of the road.



振り返り DX支援、何が難しいと思われましたか？



DX支援、何が難しい？

**DX、最初の一歩どう
するか？**

DX支援、何が難しい？

**経営層/社員の理
解をどう得るか？**

DX人材とは？

**DX、最初の一歩どう
するか?**

DX支援、何が難しい?

**経営層/社員の理
解をどう得るか?**

DX人材とは?

「DXの科学[®]」アカデミー 2月度ゲストセミナー番外編
2023年3月2日 (木) 15:00-17:00
ゲストスピーカー: 村上和彰

DX × 行動経済学

～ なぜうちの経営層/社員はDXに抵抗するのか？
どうすれば抵抗感を緩和できるか？
そして、何をすれば良いか？～

事前登録: 不要。

時間になりましたら、下記/右記Zoom URLに接続ください。

<https://us02web.zoom.us/j/87504387683?pwd=ODU1TFd6a2J4MDBqeGNjRk9jbFBxdz09>



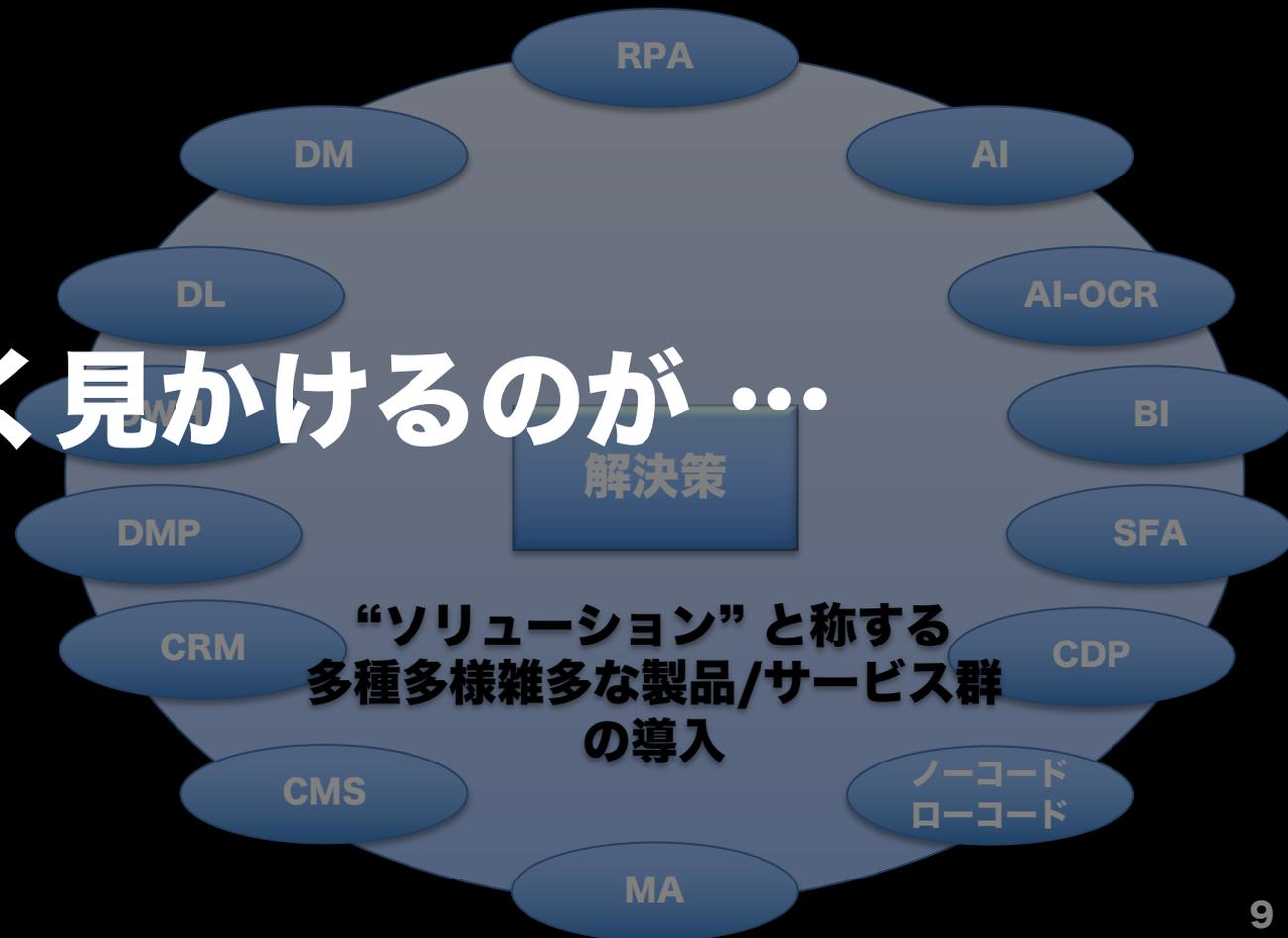
**DX、最初の一歩どう
するか？**

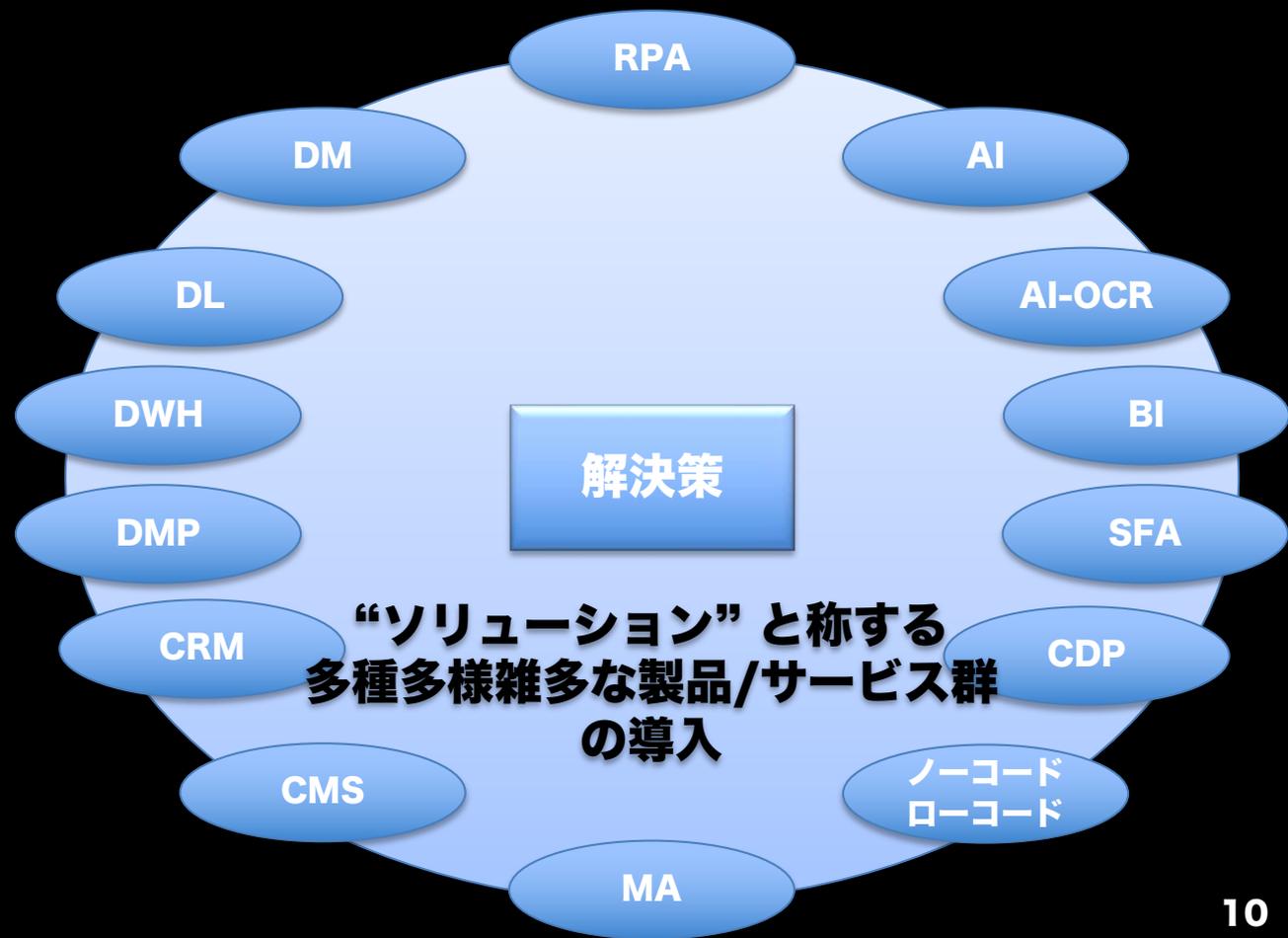
DX支援、何が難しい？

**経営層/社員の理
解をどう得るか？**

DX人材とは？

よく見かけるのが...





**“ソリューション” と称する
多種多様雑多な製品/サービス群
の導入**

でも、そのほとんどが
目的不在!

解決策

“ソリューション” と称する
多種多様雑多な製品/サービス群
の導入

MA

ノーコード
ローコード

まずやるべきことは …

問題

問題の発見!



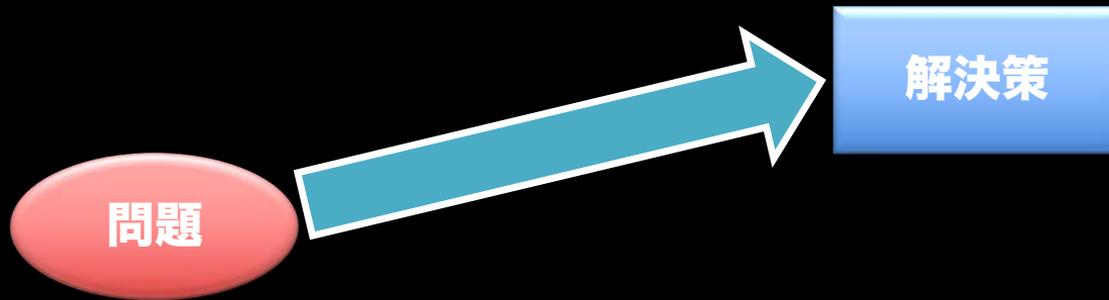
問題

しかし、多くの人
が陥るのが

…解決策

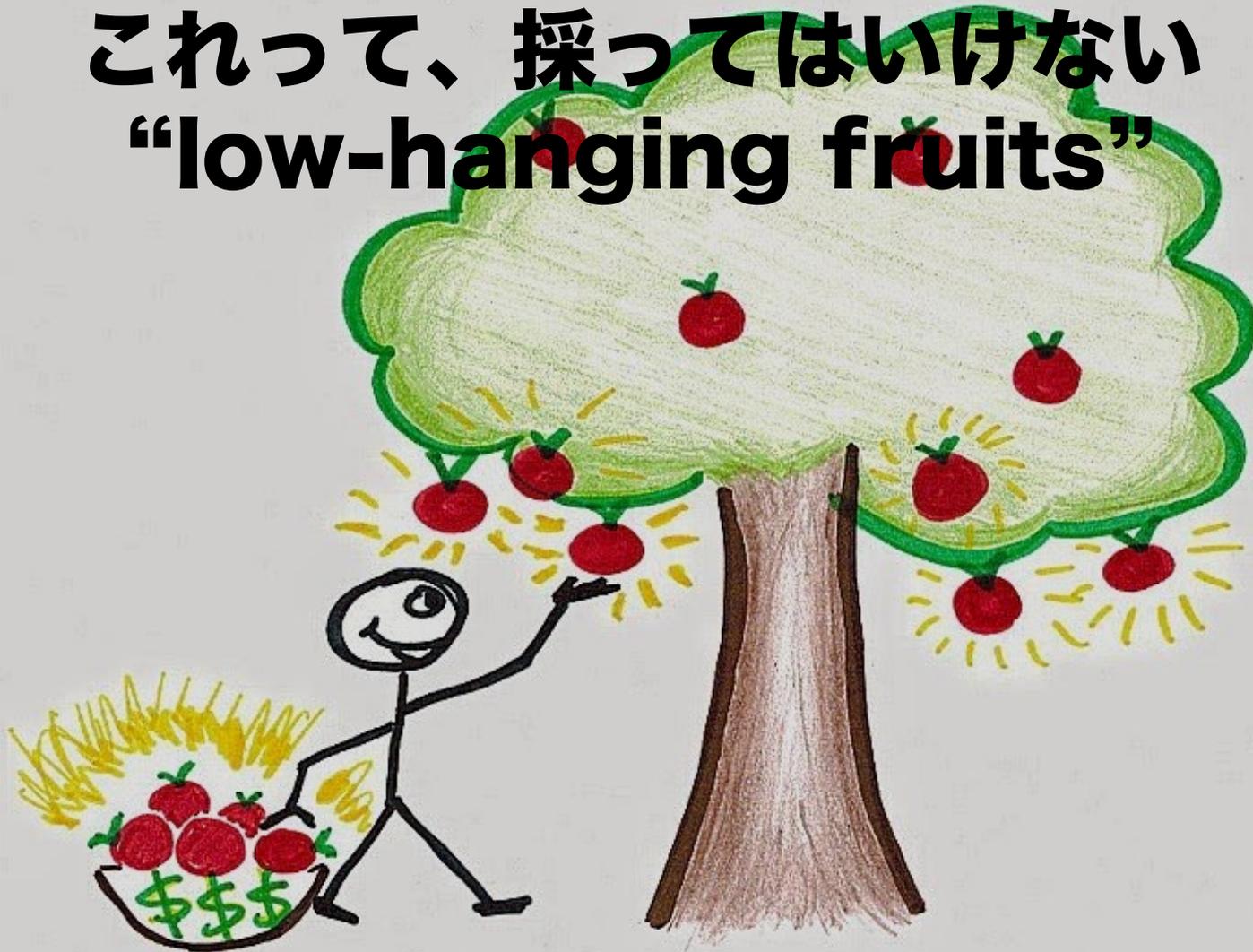
問題

HOW思考!



目についた解決法にすぐ飛びついてしまう …

これって、採ってはいけない
“low-hanging fruits”



本質
原因

本来

次にやるべきことは ...

問題

問題の本質、原因に迫る!



顕在的

誰でも発見が可能な問題

マイナス

ゼロ

プラス

一般に発見が難しい問題

潜在的

顕在的

誰でも発見が可能な問題

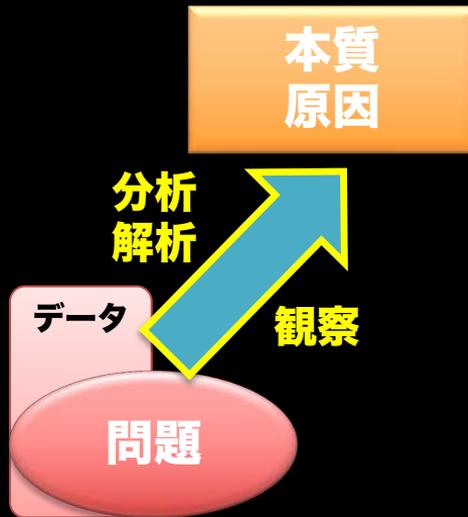
マイナス

プラス

一般に発見が難しい問題

どうやって本質的な問題を発見するか？

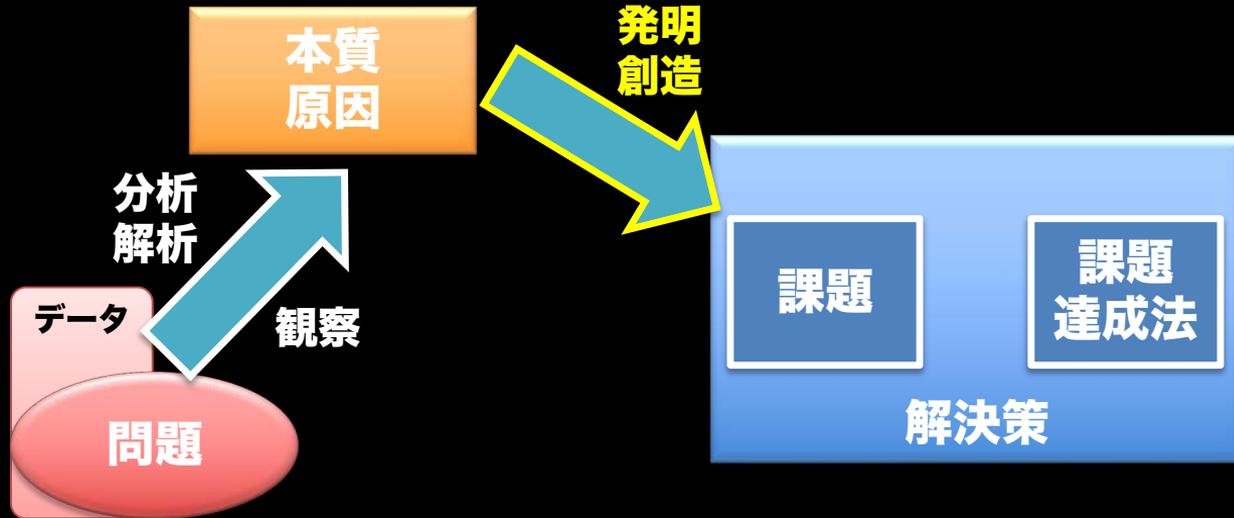
問題の本質、原因に迫る!

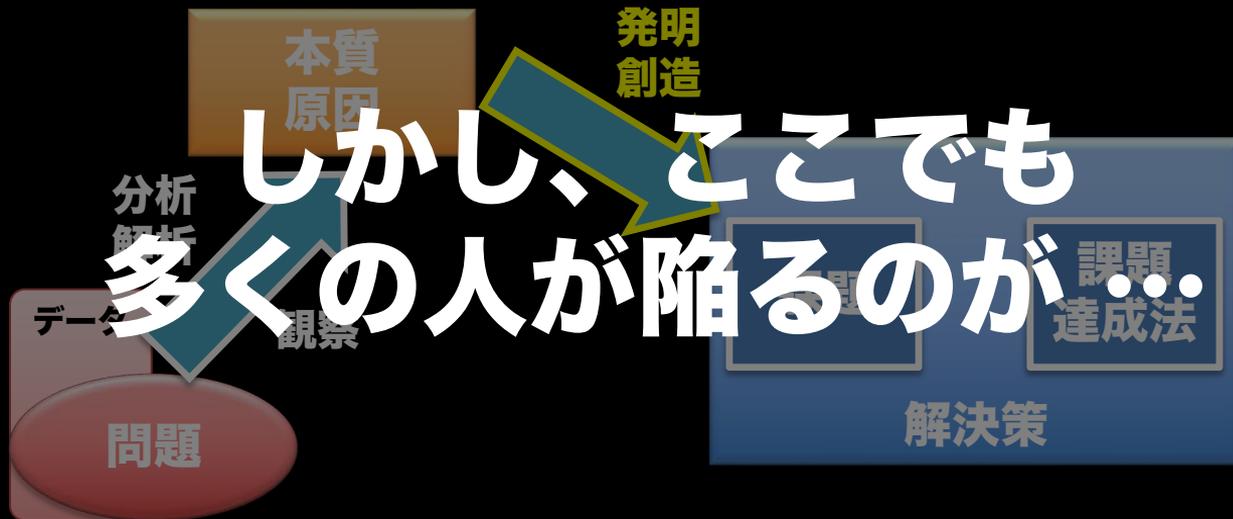


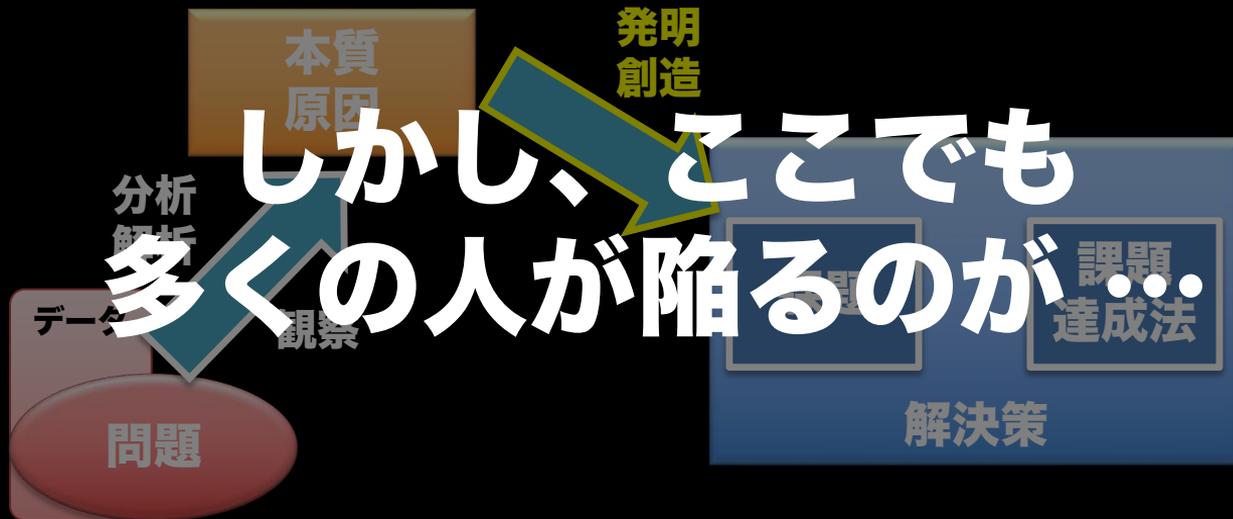
1. 問題を発見、特定する
2. 特定した問題を分解する
 - ・ ロジックツリー
 - ・ MECE
3. 分解した問題を分析・解析、観察することで問題の本質、原因に迫る
 - ・ データ分析
 - ・ データ解析
 - ・ 人文科学的思考
4. 解決すべき問題 (本質的な問題、原因) を決定する
 - ・ 各種ヒューリスティクス



問題を解決するべきにやるべきこと つまり、課題の発明!



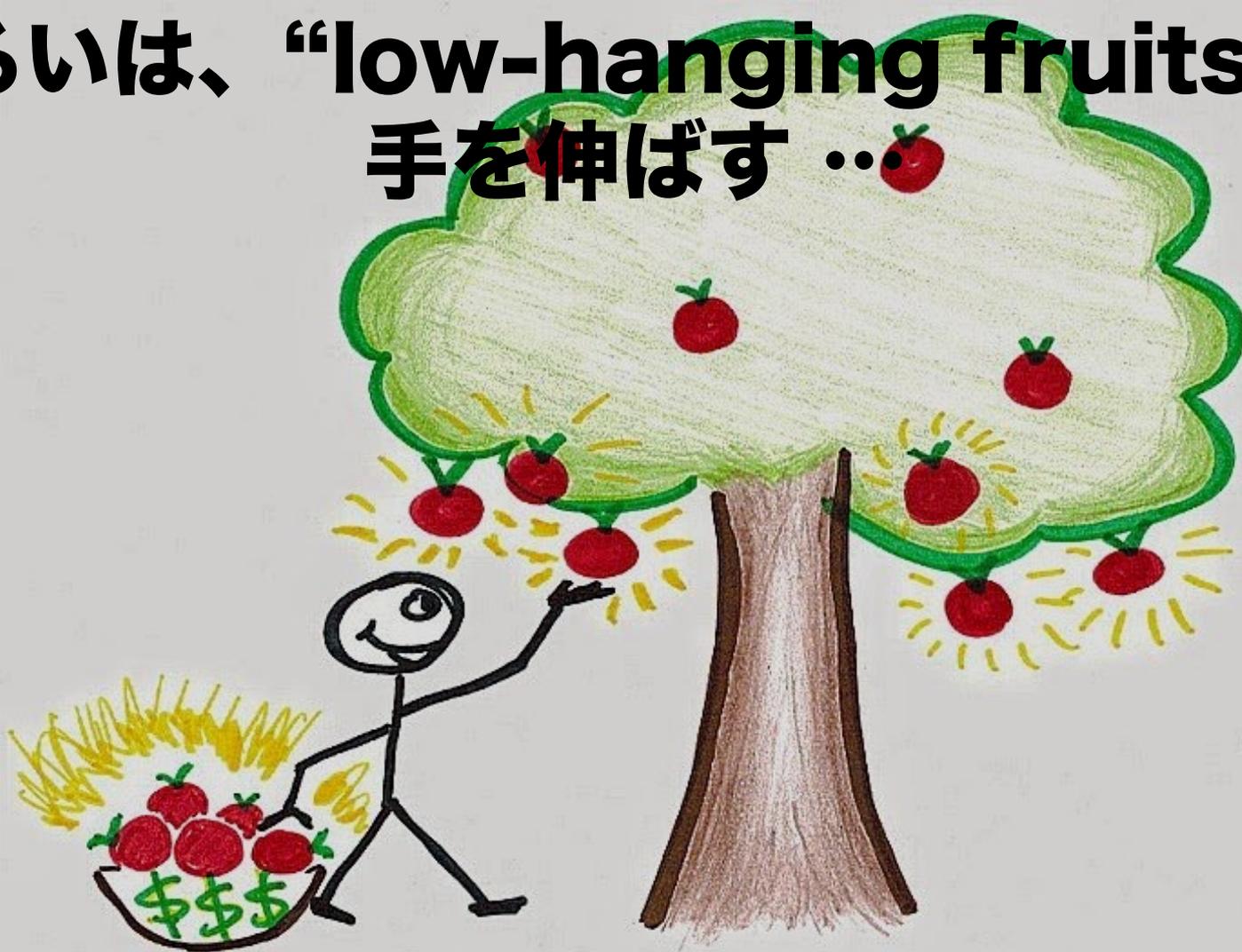




コインの裏返し

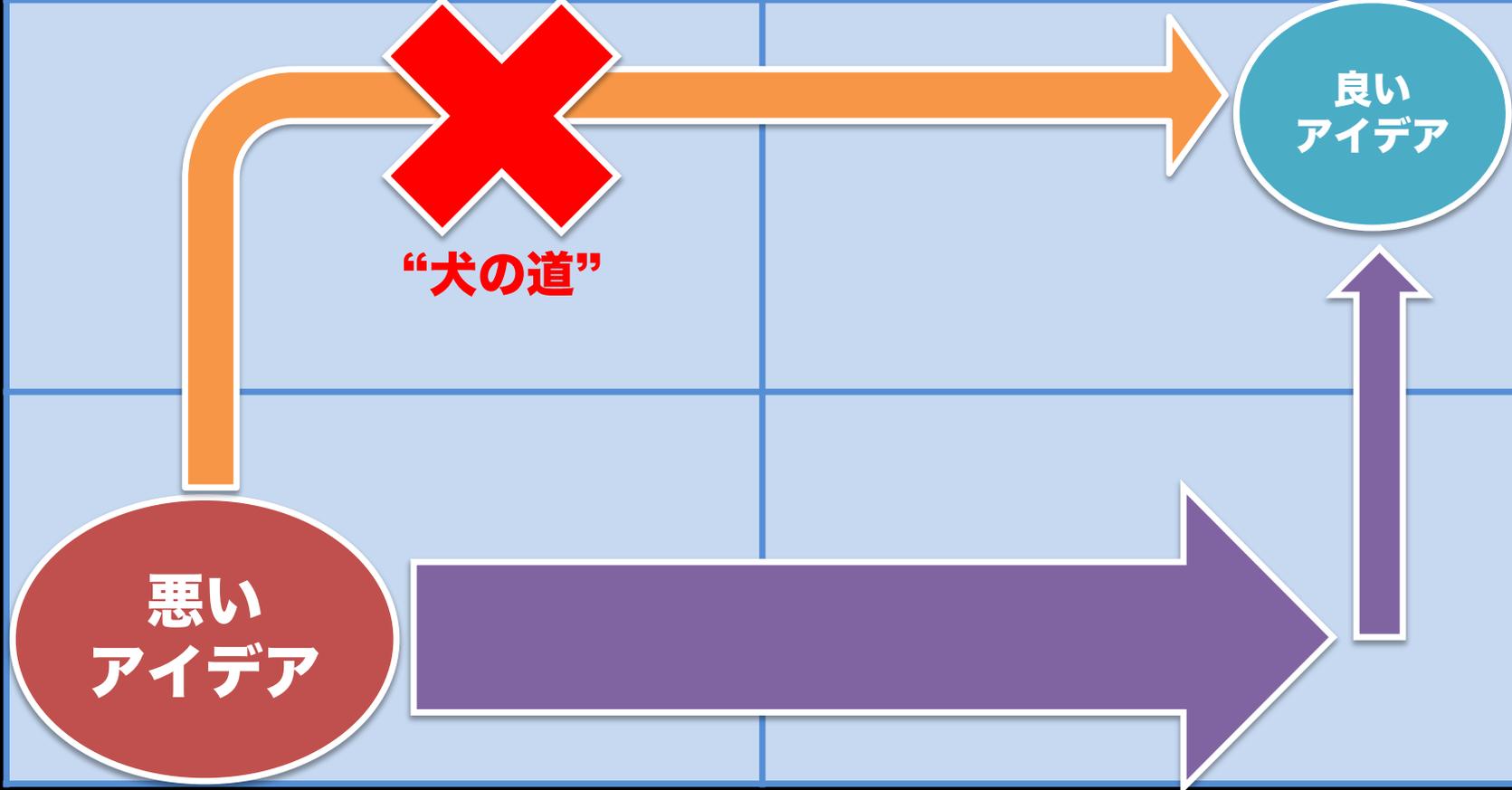


あるいは、“low-hanging fruits” に
手を伸ばす …



課題達成法の質/レベル

高
↑
↓
低



“犬の道”

悪い
アイデア

良い
アイデア

低 ← → 高

課題の質/レベル

高
↑
↓
低



“犬の道”

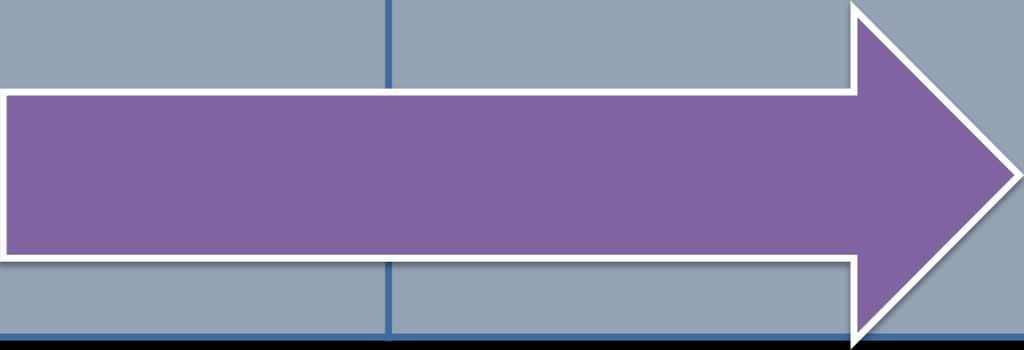


良い
アイデア

どうやって質の高い課題を発明するか？



悪い
アイデア



低 ← → 高

課題の質/レベル

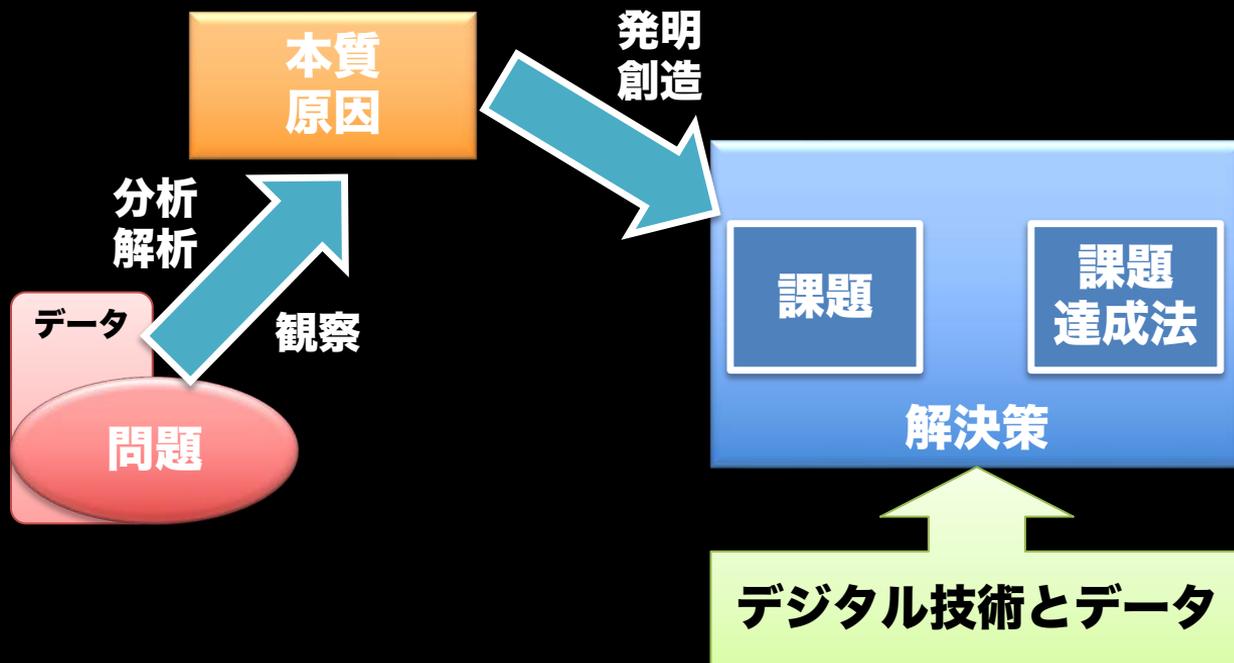
質の高い課題を発明する!

1. まずは“質より量”で大量の課題を考え出す
 - ・ デザイン思考
 - ・ HMW法
 - ・ 問いを変化させる

10+3の方法
2. その中から質の高い課題を選ぶ
 - ・ ヒートマップ法
 - ・ イッシュツリー
3. 選んだ課題と解くべき問題との間の整合性を検証する
 - ・ ロジックツリー
 - ・ システムループ



さらに、デジタル技術とデータの活用 を検討する!



置換 (デジタル化)
ゲイン増幅
つながる (時間軸)
サービスリバンドル
トレードオン

つながる (空間軸)
ネットワーク効果
既存技術にデジタル技術を掛け算
デジタル技術にデジタル技術を掛け算
データとアイデアとを掛け算
リアルとバーチャルを掛け算

デジタル技術 “四則演算”

置換 (デジタル化)
ペイン低減
自動化
境界線を除去
時間的・空間的制約の除去

サービスアンバンドル
限界コストゼロ

アイデア × デジタル技術

□ □ で



△ △ を



○○ する。

アイデア × データ × デジタル技術

◇ ◇ データを



□ □ して



△ △ を



○○ する。

アイデア × デジタル技術

□ □ で



△ △ を



○ ○ する。

スマホで

ヒトを

収集/蓄積する。

SNSで

モノを

観察する。

インターネットで

コトを

識別/認識/認証する。

IoTで

データを

分析/理解する。

5Gで

文章/画像/音声を

予測する。

AIで

社会を

回答する。

ロボットで

環境を

繋ぐ。

VR (仮想現実感) で

サイバー世界を

制御する。

AR (拡張現実感) で

△△の行動/状態/…を

操作する。

自動で / 無人で

△△と△△を

レコメンドする。

:

:

:

アイデア × データ × デジタル技術

◇◇ データを



□□ して



△△ を



○○ する。

クリックストリームを

可視化して

ヒトを

収集/蓄積する。

ID-POSデータを

分解して

モノを

観察する。

地理情報を

分析して

コトを

識別/認識/認証する。

位置情報を

マッシュアップして

データを

分析/理解する。

SNS投稿を

秘匿化して

文章/画像/音声を

予測する。

画像データを

機械学習して

社会を

回答する。

レビューを

公開して

環境を

繋ぐ。

IoTデータを

統計データ化して

サイバー世界を

制御する。

オープンデータを

圧縮して

△△の行動/状態を

操作する。

個人情報を

検索して

△△と△△を

レコメンドする。

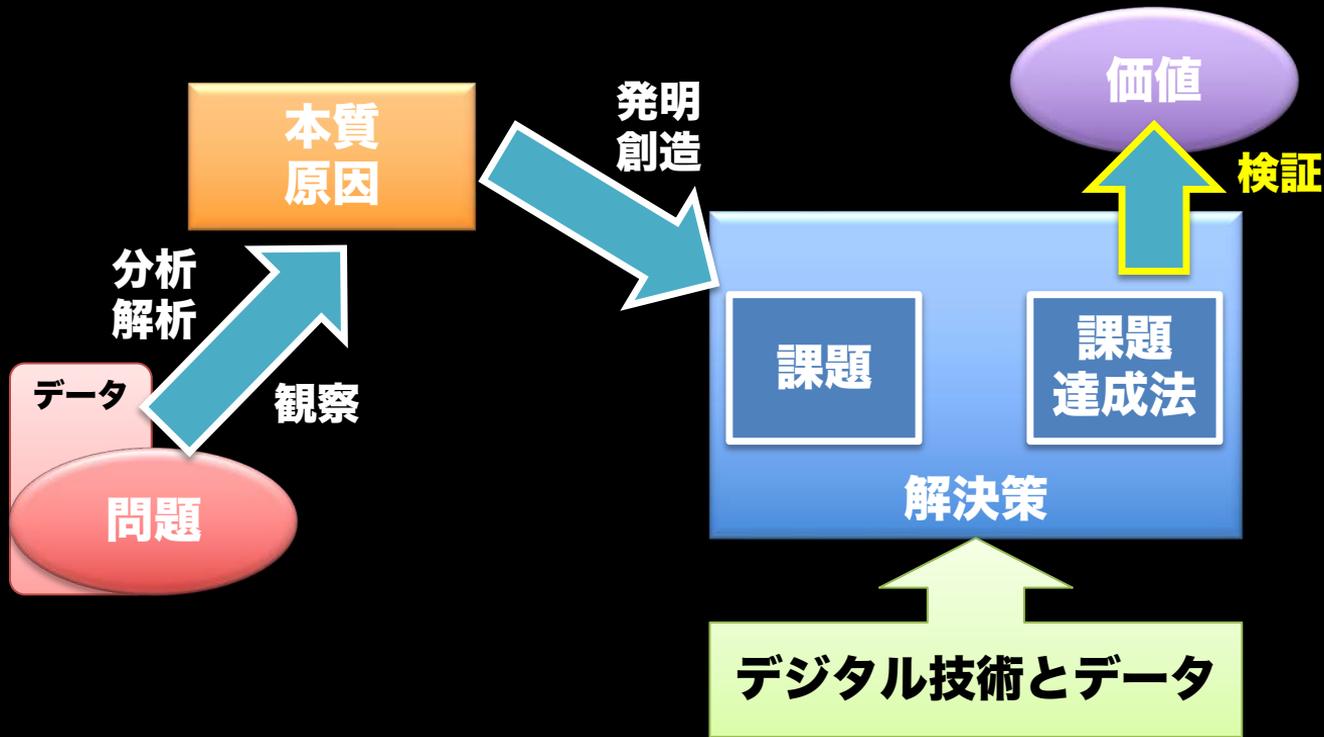
:

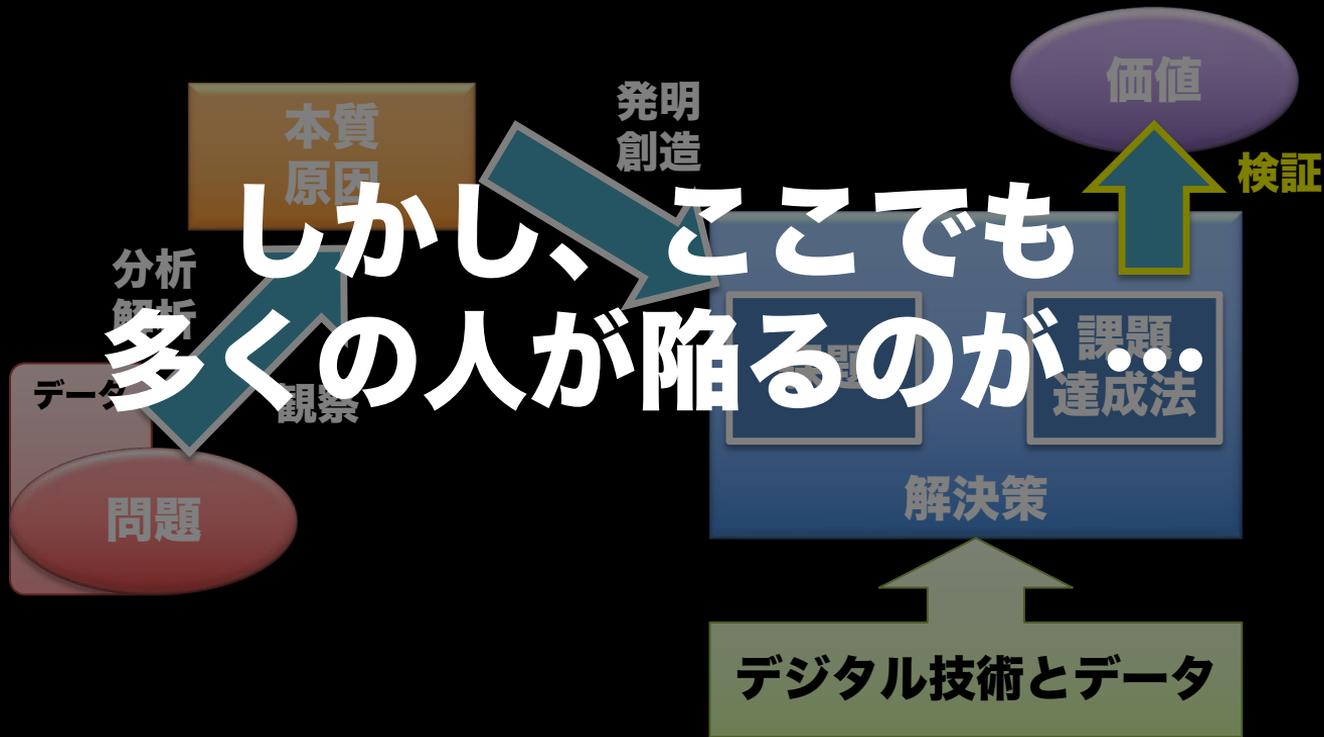
:

:

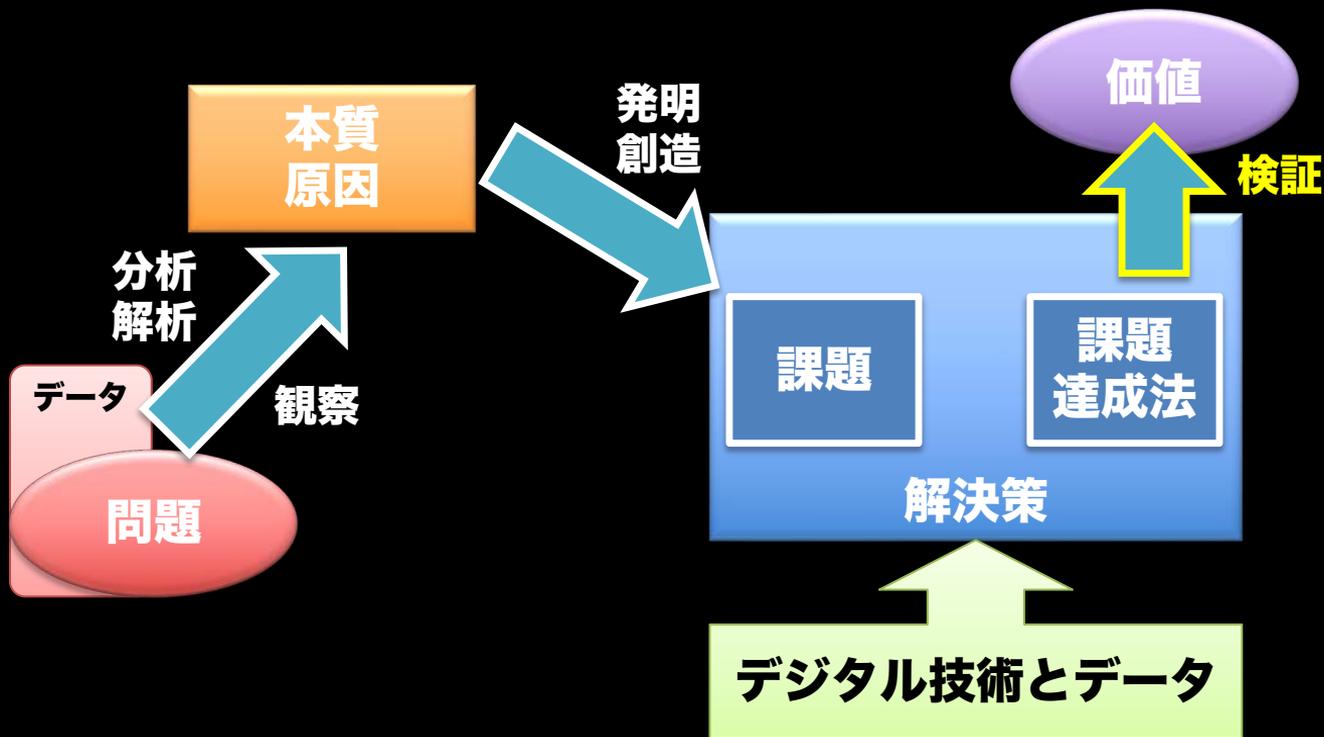
:

最後に、解決策が価値あるものか 検証する!

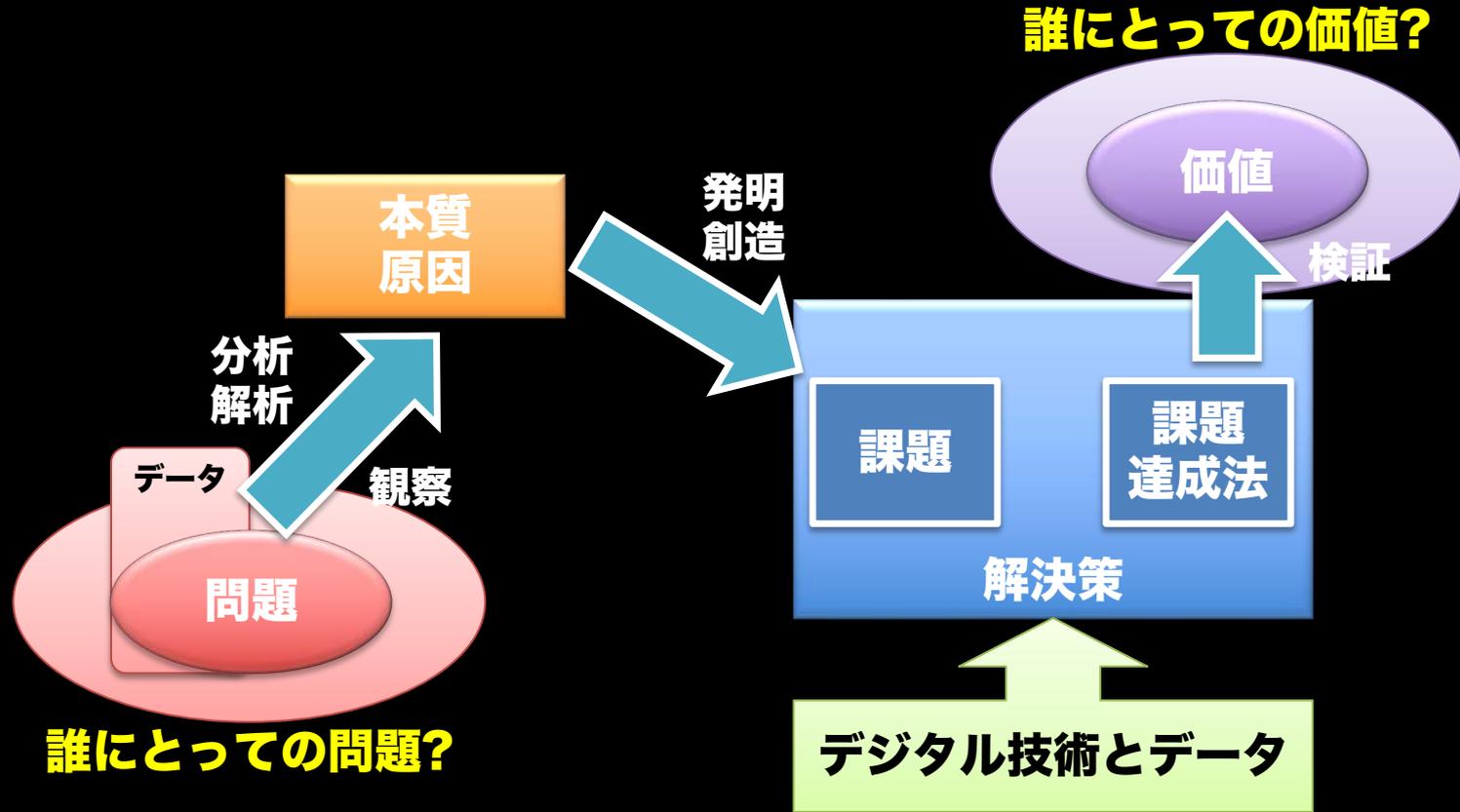




誰に対する価値が明確になっていない!

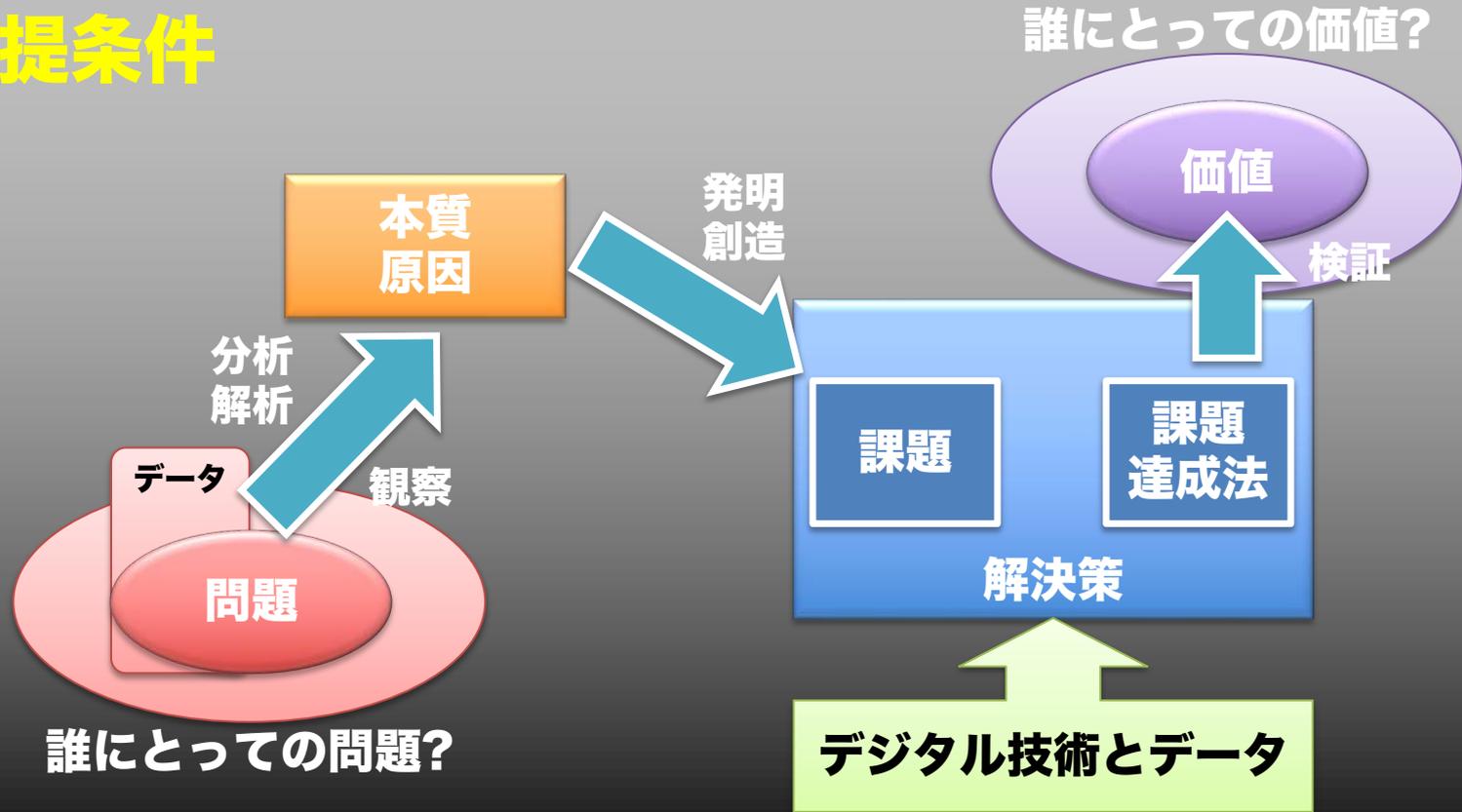


この一番に対象を明確にする!



さらに、“価値が価値であり得る”ための前提条件を定める!

前提条件



重要なのは“デジタル技術とデータ”を軸にした前提条件!

前提条件

デジタル技術とデータ

本質原因

発明創造

誰にとっての価値?

価値

検証

分析
解析

データ

観察

問題

課題

課題
達成法

解決策

誰にとっての問題?

デジタル技術とデータ

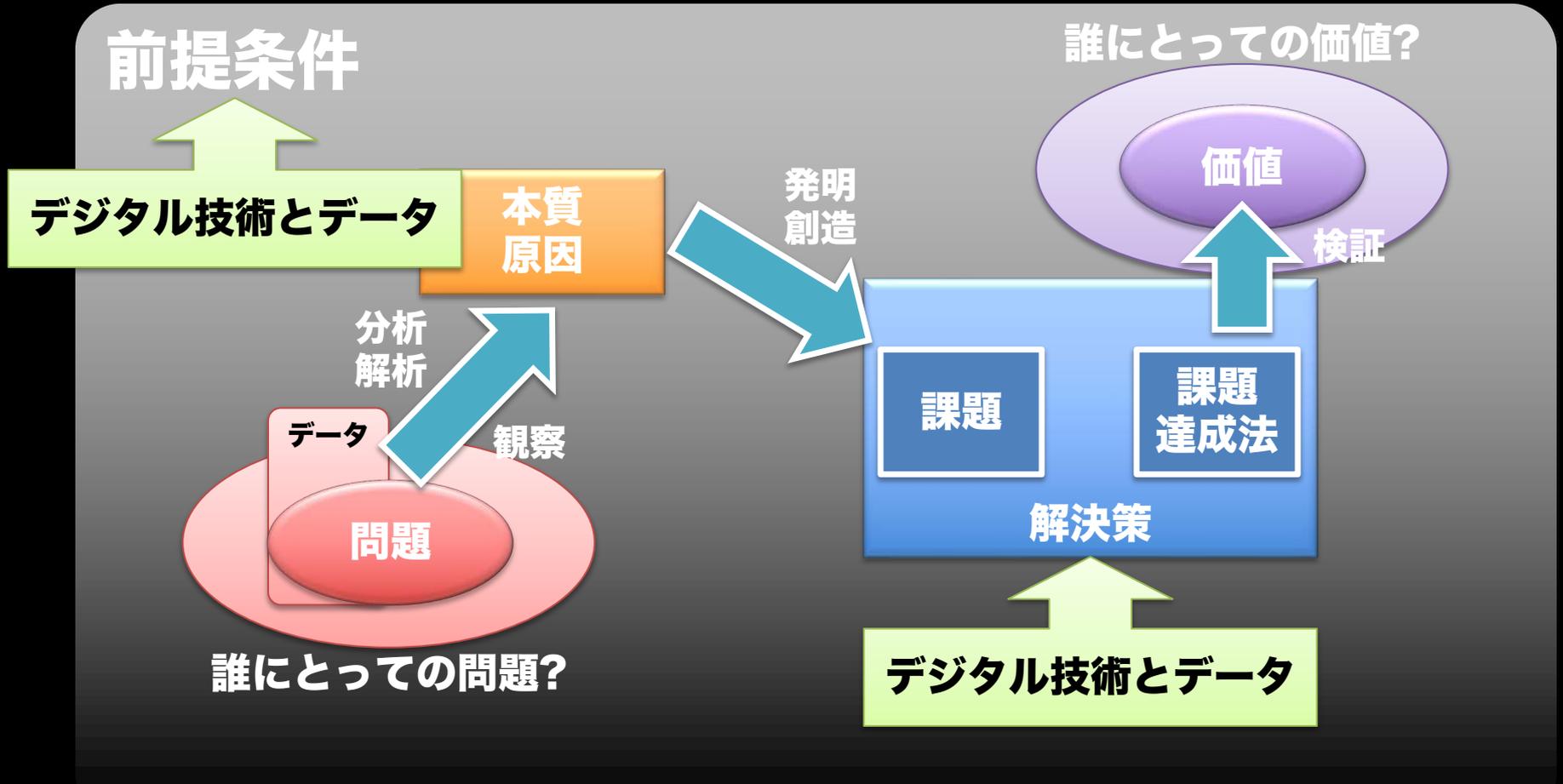
**DX、最初の一歩どう
するか？**

DX支援、何が難しい？

**経営層/社員の理
解をどう得るか？**

DX人材とは？

端的に言うと、以下の問題解決、顧客価値創造が出来るヒト!!!





振り返り

**DX支援、何が難しいと思いましたが？
塾でどんな気づきを得ましたか？**

Thank
you!